



## 2023年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年2月14日

上場会社名 フィーチャ株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4052 URL <https://ficha.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 脇 健一郎  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 立花 嵩大 TEL 03-6907-0312  
 四半期報告書提出予定日 2023年2月14日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年6月期第2四半期の連結業績（2022年7月1日～2022年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年6月期第2四半期	162	△12.5	△21	—	△24	—	△20	—
2022年6月期第2四半期	185	56.9	6	—	6	—	5	—

(注) 包括利益 2023年6月期第2四半期 △21百万円 (—%) 2022年6月期第2四半期 6百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年6月期第2四半期	△3.71	—
2022年6月期第2四半期	0.98	0.98

(注) 2023年6月期第2四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年6月期第2四半期	580	555	95.7
2022年6月期	599	568	94.8

(参考) 自己資本 2023年6月期第2四半期 555百万円 2022年6月期 568百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年6月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2023年6月期	—	0.00	—	—	—
2023年6月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2023年6月期の連結業績予想（2022年7月1日～2023年6月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	512	33.9	81	216.6	81	203.9	66	127.5	11.91

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 ー社（社名）、除外 ー社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年6月期2Q	5,555,852株	2022年6月期	5,544,752株
② 期末自己株式数	2023年6月期2Q	3,881株	2022年6月期	ー株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年6月期2Q	5,546,630株	2022年6月期2Q	5,502,670株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当社グループは、「Make Things Intelligent」をミッションに掲げ、画像認識ソフトウェアの開発を行っております。

当社グループが属する画像認識ソフトウェア業界におきましては、あおり運転や高齢運転者による交通事故が社会課題となる中、自動車向け先進運転支援システム(ADAS)、ドライバー監視システム(DMS)の普及や自動運転技術の実用化に向けて、自動車関連企業各社がこれらの取り組みを強化しております。また、社会的なデジタルトランスフォーメーション(DX)の推進が加速しており、少子高齢化や人口減少といった労働力の課題をAIにより解決する取り組みも様々な分野で多数行われております。

こうした環境の中で、当社グループは、量産案件を中心とした新規案件の獲得及びディープラーニングをはじめとした画像認識技術の研究開発を積極的に進め、当社ライセンス製品の量産台数は累計で180万台を突破しました。また、主力事業であるモビリティ事業に加え、スマートインフラ事業、DX(AI-OCR)事業へとサービス分野を広げ、事業の拡大を図ってまいりました。

しかしながら、当第2四半期連結累計期間においては、新規受託開発案件の開発開始が遅延したことや、ライセンス収入の平準化(前年同四半期は一括大口納品案件あり)の結果、受託開発収入及びライセンス収入はいずれも前年同四半期比で減少しました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高162,208千円(前年同四半期比12.5%減)、営業損失21,141千円(前年同四半期は営業利益6,237千円)、経常損失24,072千円(前年同四半期は経常利益6,263千円)、親会社株主に帰属する四半期純損失20,587千円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益5,398千円)となりました。

なお、当社グループは「画像認識ソフトウェア開発事業」の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産、負債及び純資産の状況

##### (資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は534,463千円(前連結会計年度末比15,833千円減)となりました。これは主に、売掛金及び契約資産が30,741千円増加したものの、法人税、消費税の納付及び親会社株主に帰属する四半期純損失の計上により現金及び預金が58,555千円減少したことによるものであります。

また、固定資産は46,434千円(同2,728千円減)となりました。これは主に、減価償却費により有形固定資産が1,448千円減少したことによるものであります。

以上の結果、資産合計は580,897千円(同18,561千円減)となりました。

##### (負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は24,908千円(同6,057千円減)となりました。これは主に、未払金が3,158千円増加したものの、未払法人税等が3,177千円減少したこと及び未払消費税等が9,712千円減少したことによるものであります。

以上の結果、負債合計は24,908千円(同6,057千円減)となりました。

##### (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は555,989千円(同12,503千円減)となりました。これは主に、譲渡制限付株式の発行に伴い資本金及び資本剰余金がそれぞれ4,684千円増加したものの、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上により利益剰余金が20,587千円減少したことによるものであります。

#### ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は、412,046千円(前年同四半期は433,830千円)となりました。各キャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

##### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は56,814千円(前年同四半期比152.4%増)となりました。これは主に、株式報酬費用の計上10,734千円があったものの、税金等調整前四半期純損失の計上24,072千円、売上債権及び契約資産の増加30,741千円及び未払消費税等の減少9,712千円があったことによるものであります。

##### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は1,122千円(同578.7%増)となりました。これは、有形固定資産の取得による支出1,122千円があったことによるものであります。

##### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は23千円(前年同四半期は3,606千円の収入)となりました。これは、自己株式の

取得による支出23千円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年6月期の業績予想及び業績予想の前提となる条件につきましては、2022年8月12日に公表いたしました内容から変更はありません。当資料に記載した予想数値は、現時点での入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	470,602	412,046
売掛金及び契約資産	57,860	88,602
仕掛品	60	6,966
前払費用	21,772	26,847
流動資産合計	550,296	534,463
固定資産		
有形固定資産	10,846	9,397
無形固定資産	2,065	1,831
投資その他の資産	36,251	35,205
固定資産合計	49,163	46,434
資産合計	599,459	580,897
<b>負債の部</b>		
流動負債		
未払金	6,494	9,652
未払法人税等	5,872	2,694
未払消費税等	15,319	5,607
契約負債	—	2,749
その他	3,279	4,203
流動負債合計	30,966	24,908
負債合計	30,966	24,908
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	285,394	290,078
資本剰余金	269,084	273,768
利益剰余金	10,865	△9,722
自己株式	—	△23
株主資本合計	565,344	554,101
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	3,149	1,887
その他の包括利益累計額合計	3,149	1,887
純資産合計	568,493	555,989
負債純資産合計	599,459	580,897

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年7月1日 至 2021年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)
売上高	185,333	162,208
売上原価	53,522	53,777
売上総利益	131,810	108,431
販売費及び一般管理費	125,573	129,572
営業利益又は営業損失(△)	6,237	△21,141
営業外収益		
受取利息	15	21
雑収入	106	—
営業外収益合計	121	21
営業外費用		
為替差損	95	882
株式報酬費用	—	2,069
営業外費用合計	95	2,952
経常利益又は経常損失(△)	6,263	△24,072
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	6,263	△24,072
法人税等	864	△3,484
四半期純利益又は四半期純損失(△)	5,398	△20,587
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	5,398	△20,587

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年7月1日 至 2021年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	5,398	△20,587
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	836	△1,261
その他の包括利益合計	836	△1,261
四半期包括利益	6,235	△21,848
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,235	△21,848



(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年7月1日 至 2021年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	6,263	△24,072
減価償却費	3,861	2,804
敷金償却	366	366
株式報酬費用	—	10,734
受取利息	△15	△21
為替差損益(△は益)	△185	△666
売上債権及び契約資産の増減額(△は増加)	△69,717	△30,741
棚卸資産の増減額(△は増加)	5,597	△6,906
未払金の増減額(△は減少)	1,716	3,158
契約負債の増減額(△は減少)	13,815	2,749
未払消費税等の増減額(△は減少)	8,878	△9,712
その他	2,849	△2,097
小計	△26,568	△54,402
利息の受取額	15	21
法人税等の支払額	—	△2,432
法人税等の還付額	4,045	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	△22,507	△56,814
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△165	△1,122
投資活動によるキャッシュ・フロー	△165	△1,122
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
株式の発行による収入	3,606	—
自己株式の取得による支出	—	△23
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,606	△23
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,021	△595
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△18,044	△58,555
現金及び現金同等物の期首残高	451,874	470,602
現金及び現金同等物の四半期末残高	433,830	412,046

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、一部の連結会社において、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、見積実効税率に替えて法定実効税率を用いることとしております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは、「画像認識ソフトウェア開発事業」の単一セグメントであるため、記載を省略しております。